

期待される あなたの意欲と行動力

今年3年に1度の農業委員の選挙の年です。19回目となる選挙は、7月10日(日)に予定されています。

今年の農業委員選挙は、昨年改正された農業委員会法のもとでの初めての選挙であり、これからの農業・農村にとって重要な意味を持っています。新たな「食料・農業・農村基本計画」の実現に向け、農業委員会が担う「優良農地の確保と有効活用」、農業の担い手確保・育成と経営の確立」という重要な役割を果たすためにも、地域農業の再生に向けて、みずから率先して行動する農業委員を選ぶことが期待されています。

農業委員会の仕事

農業委員会は、おもに次のような仕事をしています。

- 優良農地の確保と有効利用
農地の売買や貸借、転用など許可業務を行うとともに、遊休農地の解消・無断転用を

防ぐための農地パトロールなど優良農地の確保と有効利用の取り組みを進めています。

- 農地の利用集積と担い手への支援
地域農業の再生に向けて、認定農業者など担い手への農地利用の集積や経営の確立に向けた支援活動をしています。

○地域の世話役活動と農家の代表
農業委員一人ひとりが税金や農業者年金など農家の経営や生活の相談に対して、きめ細かな世話役活動を進めています。農家の意見や要望をくみ取り、農政に反映させるために農業委員会として行政に対して建議・提言などを行っています。



防ぐための農地パトロールなど優良農地の確保と有効利用の取り組みを進めています。

7月は 農業委員選挙 農地と担い手を守り、力強い農業をつくる

7月に行われる3年に1度の農業委員選挙の意義や期待される農業委員について、皆さん一緒に考えてみましょう



【申し合わせ内容】

- ①農業委員会の役割と活動、農業委員選挙の意義について、関係機関・団体をはじめ農家や住民に幅広く普及浸透を図る。
- ②女性・青年農業者、認定農業者などの立候補を促す環境づくり、市町村議会推薦の選任農業委員への登用が図られるよう関係方面に働きかける。
- ③特に女性農業委員については、1農業委員会あたり複数の選出をめざす。認定農業者についても全体の2割選出を目標とする。
- ④農業委員定数の見直しについては、地域の実情や条件などを十分に考慮し、適正な確保に努める。

女性・青年農業者、認定農業者など 行動力のある人材

今回の農業委員選挙では、どのようなことが求められているかを考えるうえで、次のことが参考になります。

市町村農業委員会の上部団体である全国農業会議所では、新たな農業委員会づくりに向けて、女性・青年農業者、認定農業者などの多様で行動力のある人材が選ばれる環境づくりなど、右記のとおり4点について申し合わせをしています。

不明な点は
農業委員会事務局
TEL028(67)6047
選挙権・被選挙権 立候補の手続きは
選挙管理委員会事務局
TEL028(67)1111

芳賀町の農業委員数

選挙
祖母井……………5人
南高根沢……………5人
水橋……………5人
選任(推薦)
町議会……………4人以内
農業協同組合……………1人
農業共済組合……………1人
土地改良区……………1人

もったいないが、がんばりましょう。ごみ減量化!!

◎芳賀郡中部環境衛生事務組合への排出量

平成16年度の一年間で、中部環境衛生事務組合に排出されたごみは、平成15年度と比べると、94トン(前年比2.7%)増加しています。特に可燃ごみは63トン、増加しています。(表1)

さらに、可燃ごみをごみステーションからの収集量と直接施設に持ち込む量とで比べると年々、直接施設に持ち込む事業系一般廃棄物の割合が高くなっています。(表2)

この理由としては、家庭でのプラスチック類発泡トレイ類回収処理事業の実施により、ごみステーションへ排出する可燃ごみが減っていますが、逆に工業団地立地企業の従業員や生産量の増加から事業系一般廃棄物の排出量の増加が見られるためと考えられます。(中部環境負担金1億6,647万円うち、ごみ処理費1億4,769万円)

◎資源物回収事業

PTAや子供会、公民館等の資源物(紙類・鉄類・ビン類)回収事業は、平成15年度と比べると同じですが、紙類の回収量が40トン増加し、鉄類の回収量は40トン減少しました。今後、更に紙類の回収量増加を期待しています。(表3)(支援費330万円)

◎プラスチック類発泡トレイ類

平成16年度は、45カ所の拠

平成16年度に芳賀町から排出されたごみの量について、概要をお知らせします。

点で63トンのプラスチック類を回収し、リサイクルしました。前記のとおり、家庭から排出される可燃ごみは着実に減少しています。(回収処理委託費1,392万円)

◆可燃ごみ袋代の使い方◆

可燃ごみ専用袋の料金50円の使い方をお知らせします。芳賀郡中部環境衛生事務組合では、ごみの処理に係る経費の負担を排出者に多くし

☆まとめ☆

循環型社会「環の町芳賀」を実現していただき、少しずつごみ減量化とリサイクル推進の効果が現われてきていますが、もったいないが、

を減らしていきましょう。今回は概要の説明ですが、昨年に引き続き「ごみの特集号」を発刊する予定なので、詳しくは後日お知らせいたします。また、今後10年間のごみ処理に係る減量化目標などを盛り込んだ基本計画を策定中です。ご意見をお待ちしております。

環境対策課環境対策室
TEL028(67)6041

